

2 受療率

全国（宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除く。）の受療率（人口10万対）は、「入院」1,068、「外来」5,784である。

(1) 性・年齢階級別

性別にみると、入院では「男」1,005、「女」1,129となっており、外来では「男」5,014、「女」6,514となっている。年齢階級別にみると、入院では、「10～14歳」が98と最も低く、年齢階級が上がるほど高くなっている。外来では、「15～19歳」が2,017と最も低く、「80～84歳」が13,457と最も高くなっている。（表7、統計表8）

表7 性・年齢階級別に見た受療率（人口10万対）

平成23年10月

年齢階級	入 院			外 来		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	1 068	1 005	1 129	5 784	5 014	6 514
0 歳	1 036	1 089	980	7 193	7 499	6 871
1 ～ 4	175	188	161	7 009	7 225	6 778
5 ～ 9	103	113	93	4 692	4 819	4 562
10 ～ 14	98	108	87	2 916	2 951	2 880
15 ～ 19	125	131	120	2 017	1 746	2 302
20 ～ 24	186	167	205	2 260	1 684	2 861
25 ～ 29	254	185	324	2 708	1 874	3 569
30 ～ 34	304	224	387	3 026	2 117	3 961
35 ～ 39	313	282	344	3 187	2 341	4 057
40 ～ 44	347	380	314	3 397	2 719	4 091
45 ～ 49	461	519	402	3 852	3 284	4 425
50 ～ 54	619	735	501	4 585	3 837	5 330
55 ～ 59	854	1 028	682	5 421	4 685	6 144
60 ～ 64	1 135	1 377	902	6 786	6 157	7 392
65 ～ 69	1 445	1 737	1 179	8 802	8 086	9 463
70 ～ 74	2 007	2 301	1 754	11 617	10 844	12 293
75 ～ 79	2 927	3 236	2 686	13 363	12 790	13 803
80 ～ 84	4 314	4 508	4 189	13 457	13 367	13 516
85 ～ 89	6 170	6 138	6 188	11 809	12 437	11 526
90 歳以上	9 733	8 909	9 965	9 322	10 928	8 869
(再 掲)						
65 歳以上	3 136	3 052	3 199	11 414	10 891	11 805
70 歳以上	3 745	3 607	3 841	12 355	12 076	12 549
75 歳以上	4 598	4 389	4 725	12 717	12 816	12 657

注：1）総数には、年齢不詳を含む。

2）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

平成20年の同地域を除いた数値は、34頁の参考表4に掲載している。

(2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、入院では、高い順に「V 精神及び行動の障害」225、「IX 循環器系の疾患」200、「II 新生物」120となっており、外来では、「XI 消化器系の疾患」1,036、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」798、「IX 循環器系の疾患」755となっている（表8、統計表9、10）。

表8 傷病分類別にみた受療率（人口10万対）

平成23年10月

傷病分類	入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	1 068	1 005	1 129	5 784	5 014	6 514
I 感染症及び寄生虫症	18	19	17	135	126	144
結核（再掲）	3	4	2	2	2	1
ウイルス肝炎（再掲）	1	1	1	26	27	26
II 新生物	120	139	102	175	165	185
胃の悪性新生物（再掲）	12	16	8	15	21	10
結腸及び直腸の悪性新生物（再掲）	15	18	13	19	22	16
肝及び肝内胆管の悪性新生物（再掲）	6	9	4	5	6	3
気管、気管支及び肺の悪性新生物（再掲）	15	22	9	12	16	9
乳房の悪性新生物（再掲）	4	0	8	19	0	37
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	4	6	18	9	26
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	29	25	32	330	282	375
糖尿病（再掲）	19	18	20	166	185	148
高脂血症（再掲）	0	0	0	118	69	165
V 精神及び行動の障害	225	225	224	176	162	189
血管性及び詳細不明の認知症（再掲）	31	23	39	10	5	14
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害（再掲）	139	145	133	48	53	44
VI 神経系の疾患	92	77	105	119	102	136
アルツハイマー病（再掲）	33	20	44	26	14	37
VII 眼及び付属器の疾患	10	8	11	234	174	292
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	2	3	91	78	104
IX 循環器系の疾患	200	179	220	755	676	831
高血圧性疾患（再掲）	6	3	8	529	437	615
心疾患（高血圧性のものを除く）（再掲）	46	43	50	107	116	98
脳血管疾患（再掲）	137	121	152	89	91	87
X 呼吸器系の疾患	71	79	64	564	548	579
喘息（再掲）	3	3	4	103	105	102
X I 消化器系の疾患	51	56	46	1 036	914	1 152
う蝕（再掲）	0	0	0	250	222	278
歯肉炎及び歯周疾患（再掲）	0	0	0	319	269	367
食道、胃及び十二指腸の疾患（再掲）	6	7	6	101	86	115
肝疾患（再掲）	7	8	6	33	35	32
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	13	12	13	202	182	222
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	50	36	64	798	594	991
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	38	37	38	212	205	219
X V 妊娠、分娩及び産じょく	14	・	27	11	・	22
X VI 周産期に発生した病態	5	5	5	2	2	2
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5	5	4	9	9	9
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15	12	17	67	56	77
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	99	78	120	253	259	248
骨折（再掲）	68	40	95	77	66	87
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7	3	10	595	471	712

注：宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、34頁の参考表5に掲載している。

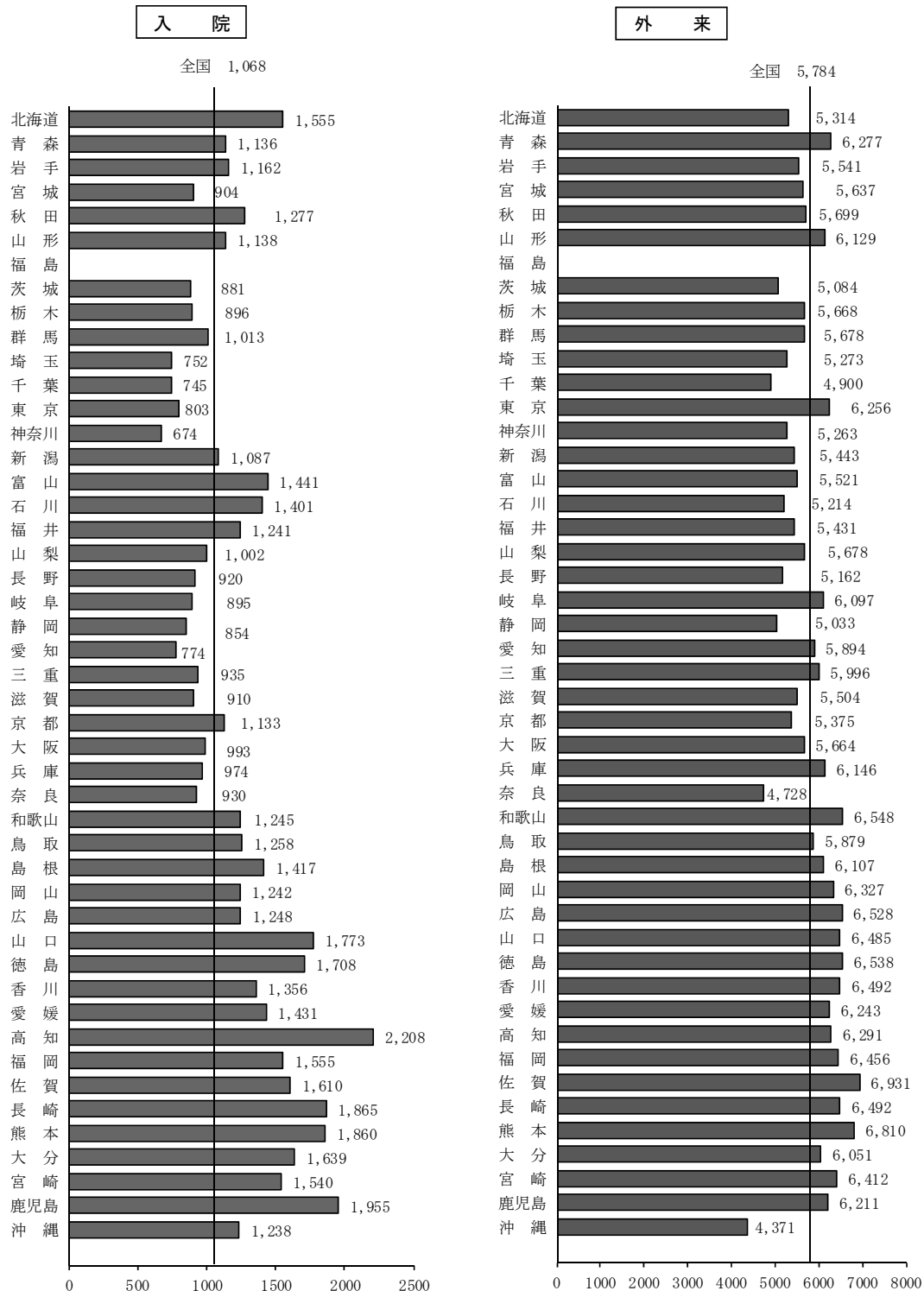
(3) 都道府県別

都道府県（患者住所地）別にみると、入院では、「高知」が 2,208 と最も高く、次いで「鹿児島」1,955、「長崎」1,865 となっている。また、「神奈川」が 674 と最も低く、次いで「千葉」745、「埼玉」752 となっている。

外来では、「佐賀」が 6,931 と最も高く、次いで「熊本」6,810、「和歌山」6,548 となっている。また、「沖縄」が 4,371 と最も低く、次いで「奈良」4,728、「千葉」4,900 となっている。（図 2）

図 2 都道府県（患者住所地）別にみた受療率（人口 10 万対）

平成 23 年 10 月



注：1) 都道府県別受療率は、患者の住所地別に算出したものである。
 2) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。